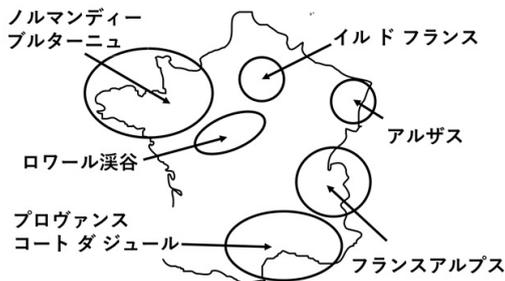


No.2：フランスの観光地



【概要】

世界有数の観光大国で、首都パリだけでなく、各地に著名な観光地がある。「西部・南部・東部」の他に、「渓谷・アルプス」など試験対策に必要な知識はかなり多い。加えて、芸術大国でもあることから「美術館・収蔵作品・作者」などの知識も必要になり、全てを頭に入れるには相当な時間がかかる。

ところが、出題されても1～2問であり、学習時間の割に得点には繋がりにくい国である。そこで、地域別に項目を関連付けるなどして工夫して覚えて頂きたい。

(このテキスト・動画と合わせ、HPのチェックテストもご活用ください。)

【イルドフランス地域圏（パリ市および7つの県で構成される地域）】

● パリ市内

・シャンゼリゼー通り

シャルル・ド・ゴール広場に立つ凱旋門から放射状に出る12本の街路のうち、コンコルド広場と結ばれる街路。フランスを代表する有名ブランド店や老舗カフェなどおしゃれな雰囲気が漂う。

・エッフェル塔

1889年のパリ万博を記念して建設され、セーヌ川をはさんでシャイヨー宮に相對している。建設当初は街の美観を損ねると批判も多かったが、現在ではパリに欠かせない観光名所となっている。

・シャイヨー宮

1937年のパリ万博の会場として造られた、セーヌ河畔の丘の上に左右に大きく弧を描いて広がる宮殿。テラス席からの眺望はエッフェル塔が正面に見えるパリで最も美しい景観の一つ。

・サクレクール寺院

パリ市街が一望できるモンマルトルの丘に建つ、ロマネスク・ビザンチン様式の白亜の大寺院。

・ムーランルージュ

モンマルトル地区にあり100年以上の歴史を誇るキャバレーで、フレンチカンカンが有名。パリの夜の歓楽街を描いた画家ロートレックも好んで題材としたことでも知られる。

● 美術館

・ルーブル美術館

セーヌ川の右岸にある世界最大級の美術館でルーブル宮殿にある。中央入り口の外観はガラスと金属でできたピラミッド型で、内部は3つの翼に分かれている。

<主な収蔵品>

- モナリザ（ダ・ビンチ） ○ミロのビーナス（作者不明） ○サモトラケのニケ（作者不明）
- カナの婚礼（ヴェロネーゼ） ○民衆を導く自由の女神（ドラクロワ） ○岩窟の聖母（ダ・ヴィンチ）
- ナポレオン一世の戴冠式と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠（ダヴィッド）

・オルセー美術館

セーヌ川の左岸にある、かつての駅舎を改装した美術館で、印象派の画家の作品が多数展示されている。

<主な収蔵品>

- 落穂拾い、晩鐘（ミレー） ○ムーランドラギャレットの舞踏会（ルノワール）
- 草上の昼食（マネ） ○タヒチの女（ゴーギャン）

・オランジュリー美術館

シャンゼリゼー通りの端のチュイルリー公園（宮殿）内にある小さな美術館。もともとは宮殿のオレンジのための温室（オランジュリー）であった。

<主な収蔵品>

- 水連<連作>（モネ）

・ポンピドゥー・センター（国立近代美術館）

かつて出題がありましたが、2025～2030年まで改修工事のため閉館されており、当分は出題がないと思われます。

● 前頁以外の地域

・ヴェルサイユ宮殿

パリ南西 22 km のイヴリーヌ県にあるフランス・バロック建築の宮殿で、かつてのフランス王家の居城（ルイ 14 世が建造）。内部には 700 以上の部屋があり、特に「鏡の間」という大広間で知られる。また、宮殿の裏側に広がる約 100 万㎡の大庭園も見どころの一つ。

[フランス北西部（ノルマンディー地方とブルターニュ地方）]

・モンサンミッシェル

フランス北西部のノルマンディーとブルターニュ地方にはさまれたサンマロ湾上にあり、本土と約 1 km の堤路で結ばれている小島で、島の頂には中世以来のカトリック巡礼地の一つである修道院が築かれている。

・オムレツ

モンサンミッシェルの参道グランドリュウにあるレストランの名物料理。19 世紀に「プーラールおばさん」で親しまれた女性が、巡礼者のために作ったのが始まりとされている。

・ジヴェルニー

印象派の巨匠クロードモネが晩年を過ごした地。「モネの邸宅と庭園」があり、そこにはモネの代表作の一つ「睡蓮」のモデルとなった蓮池があることで知られている。

・ルーアン

モネの連作「ルーアン大聖堂」のモチーフとなった大聖堂のある古都。

・ルアーブル

第二次大戦後に再建された街並みが世界遺産に登録されている近代的な港湾都市。

・オンフルール

木組みの家が立ち並びセーヌ川河口の古い港町。

[フランス南部（プロヴァンス地方とコートダジュール、その他）]

● プロヴァンス地方

・アヴィニオン

14 世紀に教皇庁が置かれていた古都で、城壁に囲まれた旧市街には城塞のような教皇宮殿があり、城壁の外側を流れるローヌ川には、半壊したままの石造りのアーチ橋、サンベネゼ橋があることでも知られている。

・エクス アン プロバンス

画家セザンヌの生地で、多くの水源があり「水の都」として知られる。落ち着いた美しい街並みが特徴。

・マルセイユ

紀元前 600 年のギリシャの植民地に始まるフランス最古の都市で、天然の良港に恵まれ、沖合に位置するイフ島には、デュマの小説「モンテクリスト伯（巖窟王）」の舞台として知られるイフ城がある。

● コートダジュール

・ニース

地中海に面し、海岸沿いにある遊歩道「プロムナード・デ・ザングレ」で知られ、マティス美術館やシャガール美術館などがある。毎年 2 月に行われるカーニバルでも知られている。

・モンテ・カルロ（モナコ公国）

モナコ公国の人口最大地区で、国営のカジノや F1 グランプリの開催地として知られる。

● その他

・カルカソンヌ

南西部のオード川沿いにある歴史的城塞都市として知られ、二重の城壁に囲まれたシテと呼ばれる旧市街には、歴代伯爵の居城であったコンタル城やステンドグラスの美しいサン ナゼール大聖堂がある。

[ロワール渓谷（古城めぐり）]

・シャンボール城

ロワール渓谷に点在する古城のうち最大の城。優美な姿で「ルネッサンス建築の最高傑作」とよばれる。特徴は中心部にある二重らせん階段で、上り下りする人がすれ違わないように設計されている。

・アンボワーズ城

ロワール川を見下ろす高台に立ち、15世紀から19世紀にかけて王家が居城としていた城。晩年をこの地で過ごしたレオナルド・ダ・ビンチはここに建てられた礼拝堂に埋葬されたと伝えられている。

・シュノンソー城

ルネッサンス様式の優美な古城で、16世紀以来、代々6人の女性が城主だったことから「6人の奥方の城」と呼ばれている。

・ブロワ城

フランス王が居城とした城で、13世紀から17世紀にかけて造られ、ゴシックとルネッサンスとバロック様式が混合している。また、ジャンヌ・ダルクがオルレアンへ向かう前に祝福を受けた場所としても知られる。

[フランスアルプス]

・モンブラン

フランスとイタリアの国境にまたがるヨーロッパアルプスの最高峰。マッターホルン、ユングフラウとともに、アルプスの3大名峰に数えられる。

・エギーユ デュ ミディ展望台

モンブラン観光のハイライトで、フランス側の麓の町シャモニーからロープウェイで行くことができる。ここからの眺望はグランドジョラスの針峰群やシャモニーの町を一望のもとにおさめることができる。

[アルザス地方]

・ストラスブール

アルザス地方の中心都市で、ヨーロッパ統合の動きの要であったヨーロッパ議会の本部が置かれている。

[その他の項目]

■ 首都：パリ ■ 通貨：ユーロ（€） ■ EU：加盟 ■ シェンゲン協定★：加盟

★ シェンゲン協定

ヨーロッパ諸国の加盟国間で、出入国審査なしで国境を自由に往来できることを定めた協定（2026年1月現在、29カ国が加盟）。日本国籍保有者は、渡航目的、パスポート要件、滞在期間、必要書類等の携行等の条件を満たせば、シェンゲン協定加盟国へ「ビザなし」での滞在が可能。詳細は、「出入国手続実務」を参照。

未出題の定番観光地

* ノートルダム大聖堂（パリ）

セーヌ川の中州にあるパリ発祥のシテ島にある大聖堂。ゴシック建築の代表といわれる、パリのシンボリックな存在。2019年に一部が焼失したが、2024年に再建された。

※ ノートルダム（我らの貴婦人）とは「聖母マリア」を表し、フランス語圏では他に何か所かあります。

* オペラ座（パリ）

パリの中心部にある1875年に落成した歌劇場。設計者の名からガルニエ宮とも呼ばれ、オペラとバレエの公演が行われている。小説『オペラ座の怪人』の舞台としても知られている。

* リヨン

フランスの南東部にある都市。ローマ帝国時代から2000年以上の歴史を持ち、15～17世紀の中世の街並みが続く旧市街は世界遺産に登録されている。また、シュランの星を持つレストランが多く、美食の町とも呼ばれる。